

# 未来型供養 「骨壺納骨型樹木葬墓地」の合同説明会

## 千代石(株)相縁事業部 (横浜市保土ヶ谷区)



合同説明会とスタッフ紹介のようす

千代石(株) (河東田清八郎社長) が供養重視の視点で考案した特許申請中「骨壺納骨型樹木葬墓地」(本誌二〇二三年二月号及び四月号で詳報)の協賛石材店を募る合同説明会が五月十七日、東京都港区のMEETING SPACE AP品川で開かれた。

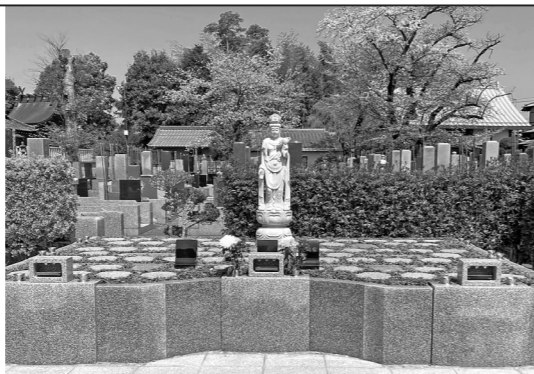
河東田社長は、納骨されず自宅保管されている遺骨が増えている昨今の社会状況などを説明したうえで、「骨壺集合体(一区画扱い)」の樹木葬は開発・拡張等のメリットが大きく、異業種参入により競争が激化していること。また造園業者へ施工を丸投げするケースが多く、排水工事の不備により集中豪雨で納骨ポットが浮き上がってしまうトラブルが起きていると指摘。

さらに、お墓ディレクター検定用テキスト『日本人のお墓』(社団法人日本石材産業協会)の監修・編著を担当した小島宏允氏が二十年前の同書で

「家族の意識は先祖供養(過去)ではなく、自分の死後設計や子孫(未来)に向かっている」と述べたとおり、「いまこそ未来型の供養が求められる」とし、既存の石材店の存在を脅かす異業種に対抗するためにも、それらすべての不安や問題を解決し、遺骨を移し替える必要がなく、骨壺のまま納骨できる供養重視の視点で考案された「売れる」「選ばれる」樹木葬が本樹木葬墓地であると説明した。

続けて、昨年十二月に千葉県野田市の真光寺(古谷光裕住職)に開設した野田樹木葬墓地「大地」の施工例と古谷住職の喜びの声をまとめた動画が上映された。

その後、同社営業推進本部の飯島功部長から、同社相縁事業部の位置づけや方向性、樹木葬墓地オープンまでのフローチャートと二つのプラン(同社一任または石材店様お任せ型)などにつ



【右】昨年十二月にオープンした野田樹木葬墓地「大地」。エリア唯一の骨壺納骨型として人気を集めている



【左】今年五月にオープンした鎌倉材木座樹木葬墓地「星あかり」。供養重視という安心感も手伝って、お客様から予想以上の反響があった



【上】第1期が早々と完売した横浜慶珊寺樹木葬墓地は現在、第2期を販売中。骨壺納骨型樹木葬墓地は各地で増え続けている

いて説明があった。

本説明会には、本誌の記事を読んで「素晴らしい」「勉強したい」等の理由で参加を決めた、業界(墓石・建築石材)をリードする大手企業や有力石材メーカー、地方の老舗石材店らが出席。最後の質疑応答では、「どれくらいの規模を想定しているのか(↓寺院墓地で概ね五十区画程度)」「実際の工事費はどれくらい掛かるのか(↓一例を紹介)」、あるいは「寺院墓地に限らず民間霊園でも導入できるのか(↓できる)」「仏壇や葬儀を扱う石材店も協賛企業になれるのか(↓できる)」など具体的な質問も飛び出し、本事業に寄せる関心や期待の高さがうかがえた。参加企業の一社とは現在も商談が継続中という。

なお、この樹木葬墓地の事業展開は寺院・石材店・お客様・同社の「四方良し」を理想とし、寺院への提案や説明、設計、集客、販売等まで同社相縁事業部が必要に応じて全面的にサポートしてくれる。石材店からの個別相談にも引き続き応じているので、興味・関心のある方は下記広告まで詳細等について相談・問い合わせると良いだろう。

弊社特許申請中の「骨壺納骨型樹木葬墓地」を用いて、新事業を始めてみませんか。

ご寺院様を通して供養の大切さを継承させていくプロジェクトに賛同していただける石材店様を募っています

申込受付 千代石株式会社 相縁事業部

0120-918-763

千代石株式会社

詳しくはインターネットで 樹木葬の千代石 検索



〒240-0004 FAX.045-459-9814 神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩間町1-11-14-202